

図書館へ
行こう!

図書館だより SAKUらいぶ 81

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館
平成30年 新年度号

☆内 容☆

- ・図書館の2つの空間を大いに活用しよう
- ・ようこそ作大図書館へ
- ・SAKUらセレクト
- ・らいぶ Question
- ・開館カレンダー

図書館の2つの空間を大いに活用しよう

図書館長 荒木 宏

学生の皆さん、大学図書館と聞くと何を連想しますか？授業のために本や雑誌を閲覧し借りる場所、あるいは落ち着いて本を読む場所といろいろ連想するかもしれません。学生時代、私は図書館をよく利用しました。ハリー・ポッターの映画撮影が行われた図書館では、時間を忘れ静謐な雰囲気の中で本を読んだことを思い出します。

図書館は、古今東西の書物が聚合し情報を発信する「知の宝庫」の場です。今日、インターネットの普及で図書館に行かなくてもパソコンやスマホで簡単に、しかも大量に情報を得ることができます。しかし、それらの情報は断片的で必ずしも内容が濃いものとは限りません。図書館でオンラインデータベースにアクセスして、資料検索をすると、本や学術雑誌からウェブにはない有益な情報を得ることができます。

図書館はまた「知を創造」する場でもあります。例えば、グループでディスカッションをしたい、あるいは発表の準備や予行練習を行いたい、そのようなグループ学習を支援するため、図書館にはラーニングコモンズとしての「グループ学習室」があります。学生同士で学習しあるいは活発な議論を行い新たな知を創造する空間です。

このように図書館は「知の宝庫」の場であり「知を創造」する場でもあります。学生の皆さんにはこの2つの空間を大いに活用する事を期待します。

ようこそ作大図書館へ

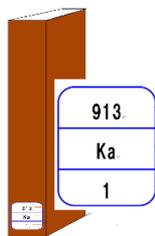


新入生のみなさん、蔵書 24 万冊を誇る作大図書館へようこそ。

大学生とは、それまでの学習方法とは異なり、自らが調べ、知識を収集・蓄積しなければなりません。図書館では、そんなあなたの学習をサポートします。

本には「背ラベル」と呼ばれる青いシールが貼ってあり、それぞれ上段から「分類記号」「著者記号」「巻号」が記されています。分類記号を手掛かりに読みたい本・調べたい資料を探してみてください。図書館の使い方については新入生オリエンテーションで学んだと思いますが、わからないことがあれば図書館員にお尋ねください。

0~9 の数字を使って本のジャンル分けをする「日本十進分類法(NDC)」を使って整理しています



分類記号
著者記号
巻号

0 総記



図書館・読書など、本に関する資料。事典もこちら。調べものにどうぞ。

1 哲学



哲学・心理・宗教・占いなど。人の考え方や生き方を書いたもの。

2 歴史



日本や世界の歴史。伝記・地理・旅行ガイドなど。

3 社会科学



法律・仕事・文化・伝説・行事など。授業で使う経営学の本、保育の本もこちらです。

4 自然科学



数学や理科の教科書や宇宙について書いた本。虫や魚の図鑑もあります。

5 技術



工業・機械・裁縫・料理など。暮らしに役立つ本が揃っています。

6 産業



農業や商業。交通機関・通信のことなど。

7 芸術



美術・音楽・映画・芸能など。授業に役立つスポーツの本はこちらです。

8 言語



言葉・日本語・外国語について。手紙や挨拶も。

9 文学



物語・詩・短歌・俳句など。面白い小説を見つけて友達に勧めよう。

SAKUらセレクト

図書館にある珠玉の一冊を紹介します

銀河鉄道の父 門井慶喜 著 913.6/Ka

文学好きが一度は足を踏み入れてしまう宮沢賢治の世界。宮沢賢治は作家であり詩人で、その作品はこれまでたくさんの人に愛され、また研究されてきました。

この小説は、賢治の生涯を父である政次郎の立場から描いたもので、その視点の新しさが好評を博し、第158回直木賞を受賞しました。

裕福な質屋の長男に生まれた賢治は、家を継がず文学の道に進みます。父、政次郎は常に賢治に翻弄され、時に甘やかし、時に苛立ち、そして最後はいつも息子への愛情に押し流されてしまいます。

その様は現代の父親の姿に重なり、物語は非常に親しみ深い、普遍的なテーマを持つものになりました。

著者の門井慶喜氏は、3歳から宇都宮市に住み、県立宇都宮東高校に学びました。この度の直木賞受賞を受けて、知事特別表彰とうつのみや市民賞が贈られています。

SAKUらいぶでは学生のみなさんの投稿を募集します

大学に入学して感じたこと、本を読んだ感想、最近ハマっていること

などを400字程度でお書きください。形式は自由です。

掲載された方には図書館より記念品を差し上げます。

らび Question

ウドウロク

有働由美子 著 699.3/Ud より



新人のころは、ラジオの3分の企画でも、何度も何度も提案を落とされた。取材に(①)を重ねたつもりで会議で自分の案をプレゼンしても、即座にその取材の甘さをアナウンサーの諸先輩から(②)というほど指摘された。そのたびに追加取材をしにいく。当時は(③)などないから毎回足を運ぶので、相手にうんざりされることもあった。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。



開館カレンダー 2018

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



午前9:00~午後6:00



午前9:00~午後1:30



休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

